



はまゆう

第89号 秋晴号 令和4年9月16日発行

発行：社会福祉法人信愛会
 土肥ホーム
 住所：〒410-3301 静岡県伊豆市小土肥787-2
 電話：0558-98-2900
 発行者：福室悦子
 戸田デイサービスセンター
 住所：〒410-3402 静岡県沼津市戸田1575-1
 電話：0558-94-5550



面会の再開

※面会方法は随時施設へお問い合わせください。



防災訓練の実施

コロナ禍でも
 今私達は何が
 できるかを考えて、
 サービス提供に
 取り組んでいます。



みんな元気ですごしましう

福祉サービス第三者評価事業を受審しました

この事業は、福祉サービス提供事業者の提供するサービスの質を当事者（事業者及び利用者）以外の公正・中立な第三者評価機関が、専門的かつ客観的な立場から評価する事業。今回の評価事業では、評価が高かった点がある一方、改善が求められる点もありました。今回の評価内容を踏まえ、不十分で改善が求められる点については、改善に取り組み、サービスの質の向上に繋げていきます。



詳細は、土肥ホームのホームページ掲載中
二次元バーコードから
もご覧いただけます。



土肥ホーム互助会の地域活動

職員の福利厚生団体である互助会が主催となって地域の清掃活動を行いました。この清掃活動は、以前から行われていた活動ですが、コロナ禍にみまわれて数年実施できていませんでしたが、今年は6月に久々の活動再開となりました。土肥地区は、小土肥海岸を中心に、道中のゴミを拾いながらの活動。戸田地区は、戸田デイサービスセンター周辺を実施しました。



土肥地区



戸田地区

互助会 川柳コンテスト!

番外編

前回掲載したコーナーが
大変好評だったので、
入選作品の一部を
ご紹介します♪



土肥の町
主役は70

未来都市

腰いたい
介護に必要

共感力

夜勤中

かすかな音にも

全集中

入所者の
過去と未来が

かくれんぼ

各事業所での出来事



土肥戸田ホームヘルプ



今年も猛暑日の連続。土肥戸田ホームヘルプでは熱中症予防のチラシを作成し、ご利用者様に説明しながら注意喚起しています。9月になっても暑さは続きます。皆様、熱中症にも気を付けてお過ごし下さい。

戸田デイサービス



戸田デイサービスセンターでのレクリエーションを紹介。今回は、「脳の活性化」、「手先の機能強化」、「集団で実施することで交流の機会

の確保」を目的に“魚釣りゲーム”を開催しました。戸田といえば魚！みなさん、集中力を高め、参加されていました。

菜の花ホーム



ご利用者との会話の中で、土肥地区では8月7日が旧七夕として過ごしていた、という話題があったので、皆さんと一筆一筆に願いを込めて短冊を作成しました。皆様どのような願いを書いたのでしょうか。皆様の願いが叶いますように…。

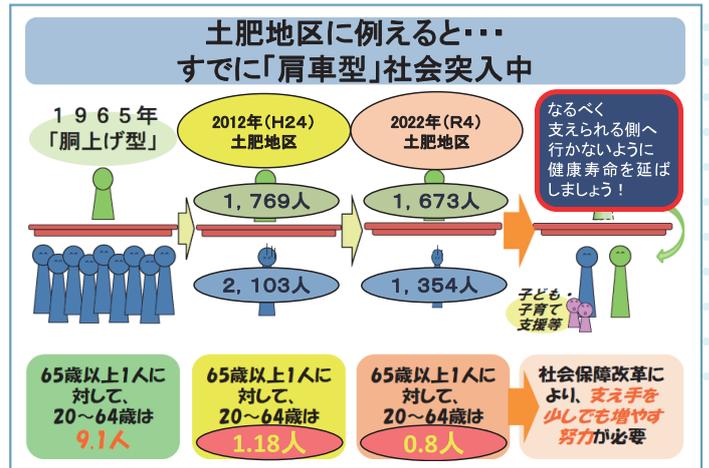
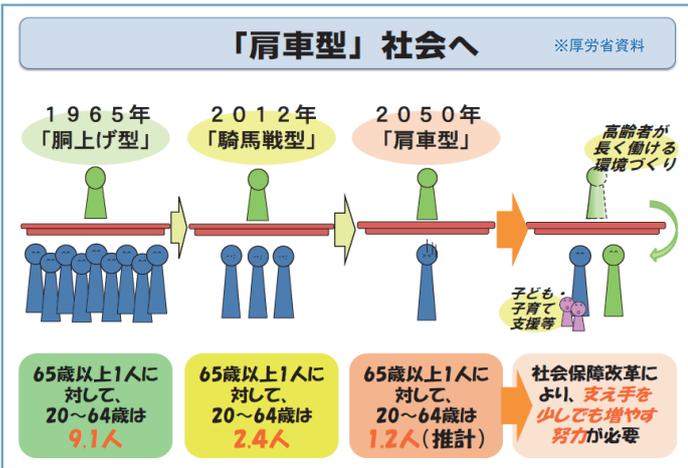
土肥デイサービス



声を出して歌うと認知症のリスク因子といわれるストレスを軽減させるという効果があります。それにはカラオケ！感染対策を講じながら楽しんでいただき、ストレス発散と認知症予防に取り組んでいます。

土肥包括の取り組み！

土肥地区の高齢者を支える新たな仕組みづくり 土肥地区の人口動向 パート4 ～健康寿命を延ばす取り組み～



住民主体による



運動教室

～各地区でロコトレOB会 元気に開催中～

土肥地区：さくら会・ひまわり会・けやき会
小土肥地区：はまゆうの会 八木沢地区：菜の花会
小下田地区：コスモス会

参加費無料

／ご存じですか？／

日本人の平均寿命：男性(81.47歳) 女性(87.57歳)
日本人の健康寿命：男性(72.68歳) 女性(75.38歳)

土肥地区では、健康づくりのため住民主体の運動教室ロコトレ OB 会が各地区で開催されています。参加費無料なので是非ご参加ください。詳細は、土肥地区地域包括支援センターへ (0558-98-3001)

令和3年事業では、土肥ホーム施設全体の事業継続における持続可能な運営体制を本格的に体系化させた年度でありました。一番の課題である人材確保問題について入居部門の特養とグループホームの職員配置を一体化させ、適正な基準配置に法り、柔軟且つ効率的な運営を行ないました。

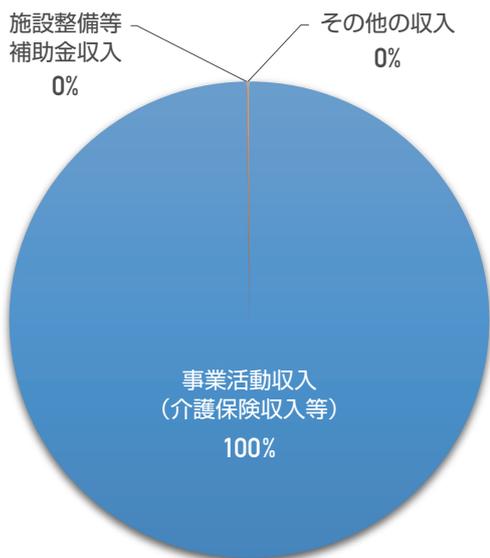
また、継続課題であった特養サービスについて適切な運営と業務改善を目的とした第三者評価事業を受審いたしました。この取り組みの中で評価団体による様々な視点から運営について評価を得る機会となりました。利用者、家族、職員から貴重な意見を頂く機会を得て、今後の業務改善に繋がるよう、事業運営に反映させていきます。またコロナの感染状況が大きな社会問題として、収束することなく引続き制限のある生活を強いる状況でありましたが、今後はコロナ禍であっても、その状況下で、どう日常生活を営むかを模索し、コロナと向き合いつつ高齢

者の生活を低下させることなく維持していくことが今後の使命と課題であることを痛感した一年でありました。職員の働き方についても研修や会議の参加などオンライン受講の仕組みを積極的に取り入れ、利便性の高い、働き方改革の実践に寄与できたこともコロナ禍の影響がきっかけだと感じております。

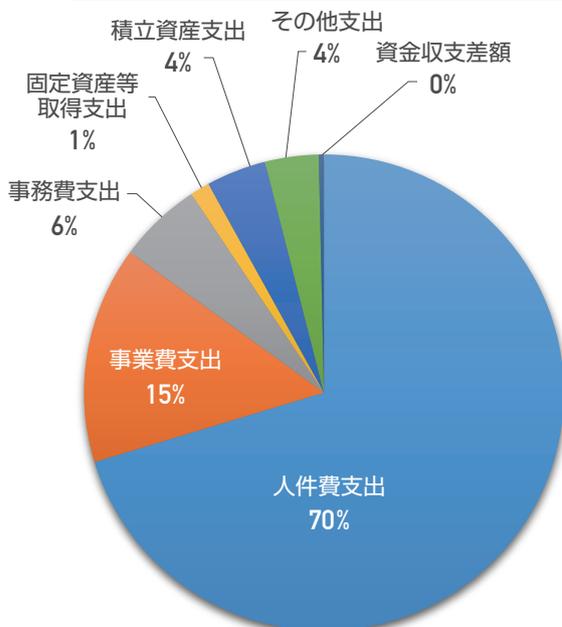
地域の特性である社会資源の活用と連携ではNPOの更なる展開に向けて地域包括ケアシステムの充実に貢献しました。災害対策では地域と連携した福祉避難所開設モデル事例の実践やコロナ発症を想定したBCPの作成など今後、起こりうる防災対策に直結した取り組みを行ないました。

また、設備更新ではICT化促進に関するWi-Fi・F i 環境工事、インカム導入、屋上防水工事、福祉避難所としての備品整備の拡充を行い、今後の設備更新に備えた資金確保として設備整備積立金を年度末に計上しました。

令和3年度 土肥ホーム事業収入



令和3年度 土肥ホーム事業支出



※戸田デイ事業の会計を統合表記

編集後記

コロナ第7波、真っ只中での広報誌作成作業。なかなか企画が思うように進まず大変苦労しました。当施設でもコロナウイルスが流行し職員一同、早期終息に向けて必死に取り組んでいます。この広報誌が発行される時には、穏やかな日常が戻っていることを願っています。

広報誌委員長 佐藤 孝之

新人紹介



池田 美樹 (介護職員)

介護の仕事が初めてで、ご迷惑をおかけしますが、宜しくお願い致します。

土肥・戸田 ホームページ

戸田デイサービス



戸田デイサービスの日々 検索

土肥ホーム



土肥ホームの日々 検索

ホームページでは日常の様子や出来事、様々な取り組み等も公開中。是非、ご覧下さい。